

# 調布保谷線だより

第 2 号  
平成22年2月

発行 東京都北多摩南部建設事務所 ☎042-330-1861  
〒183-0006 東京都府中市緑町1-27-1

皆様には、日頃から東京都の道路行政にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。  
東京都では、地域の皆様と検討を進めている内容を広く市民の皆様にもお知らせするために「調布保谷線だより」を定期的に発行しております。

## 第1回 ブロック検討会を開催しました

### ■ブロック検討会の概要

平成21年11月21日(土)及び28日(土)に③、⑤、⑨、⑩の4ブロックにおいて、第1回ブロック検討会を開催しました。

この検討会では、沿道に土地を所有されている方やお住まいの方に東京都が作成いたしました計画図(案)をお示し、土地の利用状況や利用計画を基に車の出入り(切下げ)の有無を伺った上で、環境施設帯の基本タイプのご紹介や整備に対するご希望などをお聞きしました。

また、環境施設帯の整備に関連し、沿道の方が日頃から疑問に感じているその他の内容について意見交換を行いました。

### ■ブロック検討会実施箇所

平成21年度に実施しているブロック検討会の対象箇所及び平成22年度に開催を予定している対象箇所は以下のとおりです。



### 目次

- ブロック検討会の概要・・・1p
- ブロック検討会実施箇所・・・1p
- 環境施設帯タイプ・・・2p
- 切下げ位置や幅・・・2p
- 環境施設帯タイプと切下げの関係・・・3p
- 環境施設帯タイプ選定結果・・・3p
- 参加者からの意見要望・・・3p
- 次回ブロック検討会の予定・・・3p
- 調布保谷線の整備効果・環境影響評価  
効率的・機能的な道路ネットワークをつくる  
・・・4p

## ■環境施設帯タイプ

環境施設帯の基本タイプは、「副道タイプ」と「緑地タイプ」の2種類あり、その断面構成には様々なバリエーションが考えられます。第1回ブロック検討会では、環境施設帯のタイプの例を検討の参考としてご紹介するとともに整備についてご希望を伺いました。植樹帯の割付など詳細につきましては、ブロック検討会でいただいたご意見を踏まえ地区検討会でも検討を行い決定いたします。

### 副道タイプ



車の出入りが比較的多い住宅地などに適しています。車庫入れや荷物の搬入搬出は後続車を気にせず容易に安心してできます。歩行車道と自転車道を植樹帯や区画線などで分離することも可能です。

### 緑地タイプ



車の出入りが比較的小さい画地の区間や駐車場を完備した商業施設などに適しています。切下げが多くなると緑地が少なくなります。歩行車道と自転車道を植樹帯で分離することも可能です。



緑地タイプのバリエーションとして築堤タイプがあります。

ブロック⑤では、モデル事業として築堤タイプを整備する箇所があります。

#### 築堤タイプの特徴

- 築堤部分が壁となり遮音効果も兼ねています。
- 築堤の存在による圧迫感や閉塞感について整備の際に配慮が必要です。

## ■切下げ位置や幅員

土地所有者や居住者の皆さんの自動車の乗り入れのために設置する切下げは、環境施設帯のタイプ決定に大きく影響します。

第1回ブロック検討会では、計画道路と連絡のために切下げを設置する際の基準についてご説明いたしました。また、再建に伴う切下げ設置の有無についてご要望を伺いました。

■切下げの設置に当たっては、以下のような決まりがあります。

- 1.同一収容施設に切下げを設置する数は2箇所までとし、その切下げの設置間隔は6.5m以上とする。
- 2.切下げを近接して設置する場合の設置間隔は3.5m以上とする。

■次に上げる場所には切下げを設けることができません。

- 1.横断歩道及びその前後5m以内の部分
- 2.バス停留所、ただし停留所を表示する標柱または表示板のみの場合はその位置から10m以内の部分
- 3.交差点（総幅員7m以上の道路を交差する交差点をいう）及び交差点の側端または道路の曲がり角から前後5m以内の部分
- 4.バス停車帯の部分
- 5.橋の部分

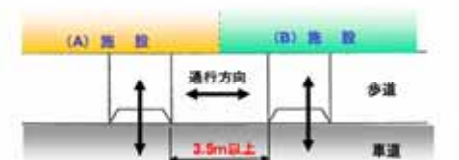
### ■切下げ延長

切下げ延長は車種によって決まっています。

A型	303cm	軽自動車
B型	424cm	普通乗用車
C型	545cm	2t~4tトラック
D型	727cm	大型トラック



近接して設置する場合の施設間の距離は3.5m以上とする。



## ■環境施設帯タイプと切下げの関係

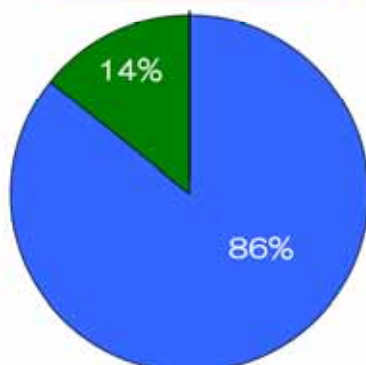
一定区間の環境施設帯において必要となる切下げの数や沿道の土地利用状況の違いが環境施設帯のタイプ決定に大きく影響するため環境施設帯のタイプと切下げの関係についてご説明いたしました。

## ■環境施設帯タイプ選定結果

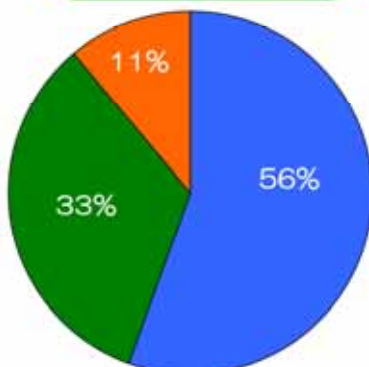
参加された皆さんに合った環境施設帯の選定結果は以下のグラフのとおりです。

現在2車線の都道に面している③ブロック、⑤ブロックでは、副道タイプを希望される方が多かったのに対し、現在一方通行の生活道路に面している⑨ブロック、⑩ブロックでは、緑地タイプを希望される方が多い結果となりました。この結果を計画図（案）と照らし合わせ、第2回ブロック検討会で引き続き詳細に検討して参ります。

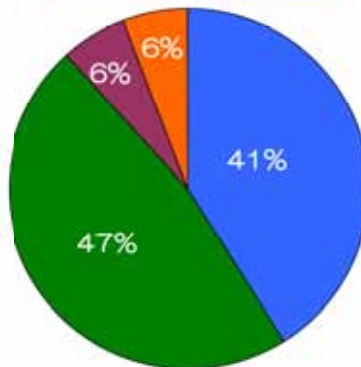
③ブロック



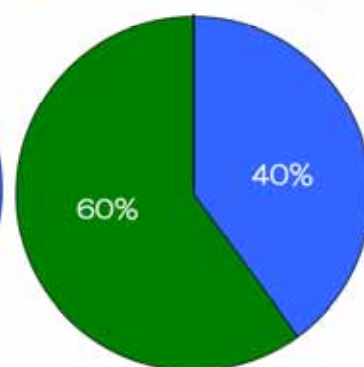
⑤ブロック



⑨ブロック



⑩ブロック

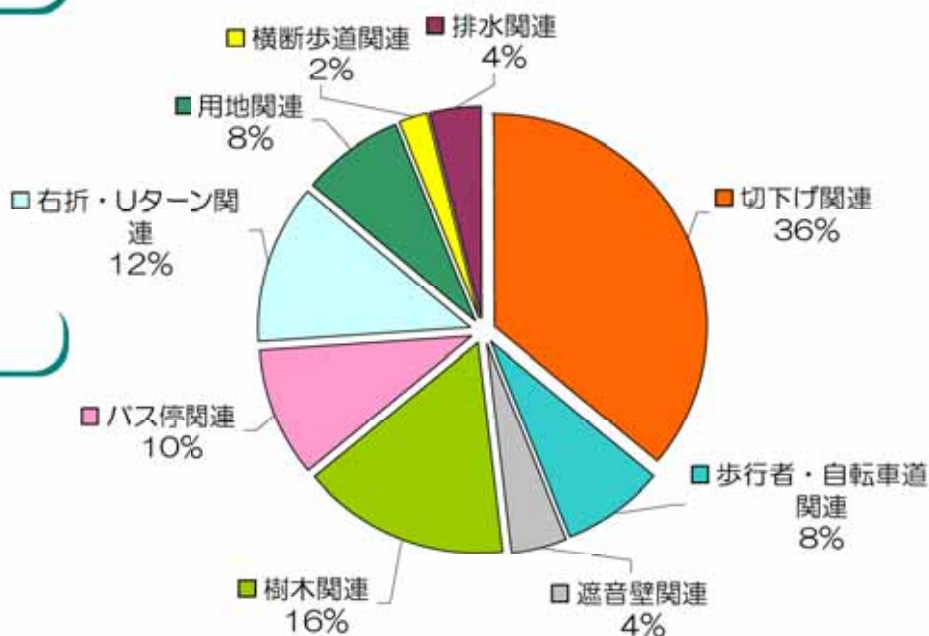


凡例 ■ 副道タイプ ■ 緑地タイプ ■ その他のタイプ ■ どちらでも良い

## ■参加者からの意見要望

今回のブロック検討会で伺ったご意見ご要望は右のグラフのとおりです。切下げのほか、樹木や右折・Uターン、バス停に関する内容が多い結果となりました。

これらのご意見ご要望については、地区検討会でもご紹介するとともに引き続き詳細に検討を行って参ります。



## ■次回ブロック検討会の予定

第2回ブロック検討会では、第1回ブロック検討会のご意見ご要望の結果とそれに伴う計画図（案）の修正箇所等についてご説明するとともに切下げ位置や幅員、副道位置の詳細などについてさらに具体的に検討して参ります。

なお、第1回ブロック検討会では、沿道の皆様のご参加が少なく、満足できる合意形成に至っていない状況です。

対象となる③、⑤、⑨、⑩ブロックの方々へは、ブロック検討会開催のお知らせをお配りしております。途中からの出席も可能ですので第2回ブロック検討会へのご出席をお願いいたします。

次回（第2回）ブロック検討会は、1月30日（土）と2月6日（土）に実施します。

# 調布保谷線の整備効果・環境影響評価

調布保谷線については、平成12年に環境影響評価書を提出し事業を進めています。検討会などで完成後の整備効果や環境影響に関するお問合せが多いことから、改めて「調布保谷線だより」の中で順次項目別にご紹介して参ります。

## ■効率的・機能的な道路ネットワークをつくる

本号では、道路ネットワークについてご紹介します。

### ●道路整備による効果

多摩地区の重要な道路は、東西と南北の「格子状の道路網」によって計画されています。

東西方向と南北方向の道路網が整備されることにより、都市間の交通ネットワークが形成され、物流がスムーズになり、活発な経済活動を行うことができます。また、公園やレジャー施設へのアクセスがスムーズになり、生活に活発な広がりが見込まれます。

### ●多摩地区の南北軸の形成

多摩地区の経済活動や物流を阻害してきた要因に、南北道路の整備の遅れが挙げられます。調布保谷線の整備は、この問題を解決する重要な道路整備計画です。

南北軸を形成することは、整備された東西軸とアクセスする交通ネットワークを形成し、スムーズな移動が可能となり、高い経済効果を得られることとなります。

### ●さらに調布保谷線が整備されると・・・

地域経済に大きく関わる交通ネットワークが確立されると、多摩地域に多く点在する公園や遊園地、レジャー施設などの集客性は大きく高まります。調布保谷線をはじめとする東西及び南北方向の道路網の整備は、地域経済の活性化に大きな貢献が期待されます。

また、経済面だけではなく、季節の彩りにつながる「みどりのネットワーク」は、多摩地域の主要施設への自転車によるアクセスが容易となり、家族でサイクリングなど楽しいものにしてもらえるなど、多機能な効果が期待されています。



お問い合わせは

東京都北多摩南部建設事務所工事第一課  
〒183-0006 東京都府中市緑町1-27-1  
電話 042-330-1861

平成22年2月発行

**R100**  
古紙・パルプ製比率100%再生紙を使用

平成21年度  
登録8号